



第 46 回 例会 報告 (6月12日)

【 出 席 報 告 】

・会員数 54名
 ・当日出席率 62.50%
 <欠席会員>青野(淳)、原田、檜垣(俊)、檜垣(巧)、鎌田、木村、眞鍋、村上(修)、岡本、佐伯、重松、竹田、田中、渡辺、矢野
 [免除会員] 青野(明)、青野(賢)、松本、宮本、白石、
 <5/29 欠席補填>(5/27 高松東)檜垣(俊) (6/3 今治南)岡本
 ・出席数 33名
 ・欠席数 21名
 ・前々回修正出席率 85.11%

◇会長報告・次回例会にて臨時総会を開催致します。議案はRIの定款細則変更についてです。

音楽例会

◆松木徹夫会員:演奏者の平尾柚衣さんは、2006年の音楽例会にも演奏していただきました。当時は中学2年生でしたが、現在は東京藝術大学器楽科の4回生になられ、卒業試験に向けてお忙しい中を当クラブ例会の為に越えさせていただきました。前回よりも成長した演奏をお楽しみください。

◆平尾柚衣様 東京藝術大学器楽科専攻4回生:平尾さんの演奏は、ベートーベンのピアノソナタ第24番 嬰へ長調「テレゼ」作品78の演奏から始まりました。次に、流れるような軽妙なフランスのクラシック近代音楽から対照的な2曲を演奏しました。1曲目はドビュッシーの2つのアラベスクより第1番ホ長調で、この作品は暖かみのある色彩豊かな音楽。引き続きラヴェルの水の戯れを鑑賞しました。この曲は水の透明感を表現しています。同時代のフランス近代音楽の中でも特色の違う曲を聴く事が出来ました。最後にJ.S.バッハ=ブゾーニの無伴奏ヴァイオリンのため



のパーティータから「シャコンヌ」ニ単調 BWV1004 (ブゾーニ編曲)を演奏しました。ブゾーニ編曲の「シャコンヌ」はオルガンで演奏されるような重厚な音質に特徴があり、先に演奏されたドビュッシーやラヴェルの流れるような音楽とはとても対照的でした。演奏終了後に、西信会長よりお花の贈呈があり、平尾氏から「今回もお招きいただきましてありがとうございます。一生懸命ピアノの勉強を続けています。今後も皆様に応援していただけると嬉しいです。」とご挨拶がありました。



<ゲスト> 平尾柚衣 (ひらお ゆい) 様 東京藝術大学器楽科専攻4回生

次回例会 (7月19日)

【 臨時総会・理事・委員長挨拶 】

<会員誕生日祝> 岡本 康利氏 (6/26) 青野 賢治氏 (6/29)
 <入会記念日祝> 眞鍋 次男氏 (6/21) 平尾浩一郎氏 (6/22) 佐伯 和信氏 (6/23)

[俵屋]